

別記様式

随意契約結果書

物品等の名称及び数量	復興道路等を活用した地域活性化検討業務
契約担当官等の氏名並びにの所属する部局の名称及び所在地	○分任支出負担行為担当官 東北地方整備局 三陸国道事務所長 高松 昭浩 ○国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所 ○岩手県宮古市藤の川4-1
契約締結日	令和2年10月 9日
契約の相手方の氏名及び住所	(株)MBCプロデュース 東京都中央区新川2-1-4 プルーナビル2階
契約金額 (消費税及び地方消費税含む)	5,500,000円
予定価格 (消費税及び地方消費税含む)	非公表
随意契約によることとした理由	別添のとおり
備考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

契約理由書

1. 件名：復興道路等を活用した三陸地域活性化検討業務
2. 契約の相手方：株式会社MBCプロデュース
東京都中央区新川2-1-4 プルーナビル2階
3. 理由：

東日本大震災からの早期復興に向けたリーディングプロジェクトである三陸沿岸道路については、令和3年内での全線開通を目指して整備を進めているが、道路の利活用による地域活性化が三陸沿岸地域、特に岩手県宮古市以北の地域に関しては大きな課題である。三陸沿岸地域の自治体と民間団体を中心とした官民が連携した検討会を運営し、地域活性化を支援することが必要である。

本業務の履行にあたっては、限られた工期内で他地域活性化事例をヒアリング調査し、運営する検討会での情報共有が求められており、円滑に業務を進行するための知識と経験を必要とするものである。

よって、上記作業を効率的かつ円滑に行うことができる企業を広く公募することが有効であり、より良い提案を受けて業務を実施することが求められるため、企画競争実施の公示をし企画提案書の提出を求めたところである。

上記業者は、業務目的及び内容の理解度が高く実施方針の妥当性が高いこと、また、特定テーマに対する企画提案において、他地域活性化事例ヒアリング調査の対象の考え方や対象者の選定ポイント、ヒアリング項目を提案するなど、本業務を履行するのに十分な技術力と能力が認められたため特定されたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号の規定に基づき、上記業者と契約を締結するものである。